



## 国産SAF実用化への課題と今後の展望 COSMOのSAFにおける取り組み

コスモ石油マーケティング株式会社  
産業燃料部 部長 里藺 拓

コスモ石油は、日揮ホールディングスとレポインターナショナルと共に  
合同会社SAFFAIRE SKY ENERGYを設立し、持続可能な航空燃料「SAF」の生産に取り組んでいます。

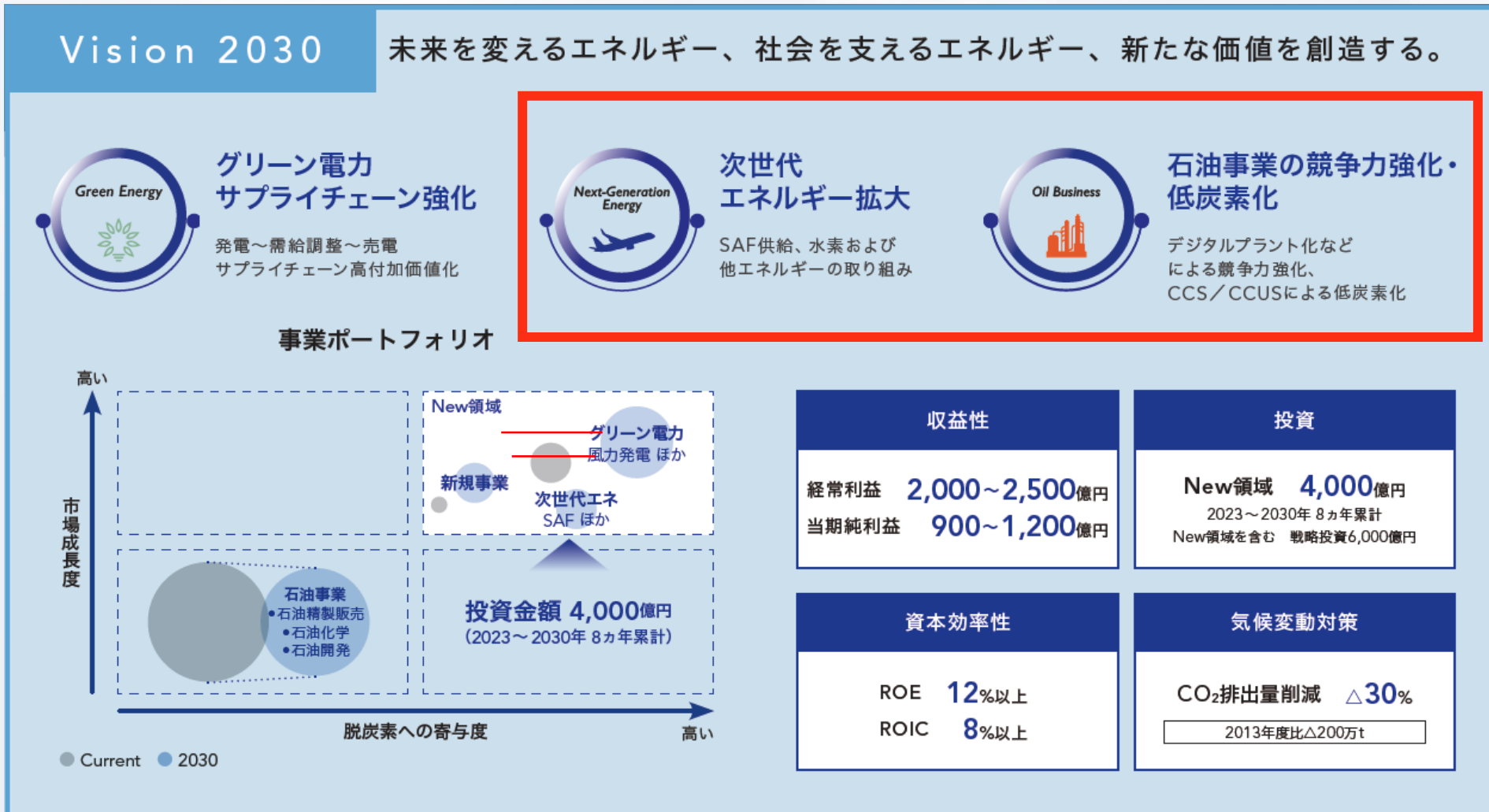


1. コスモエネルギーグループについて
2. COSMOのSAF取り組みについて

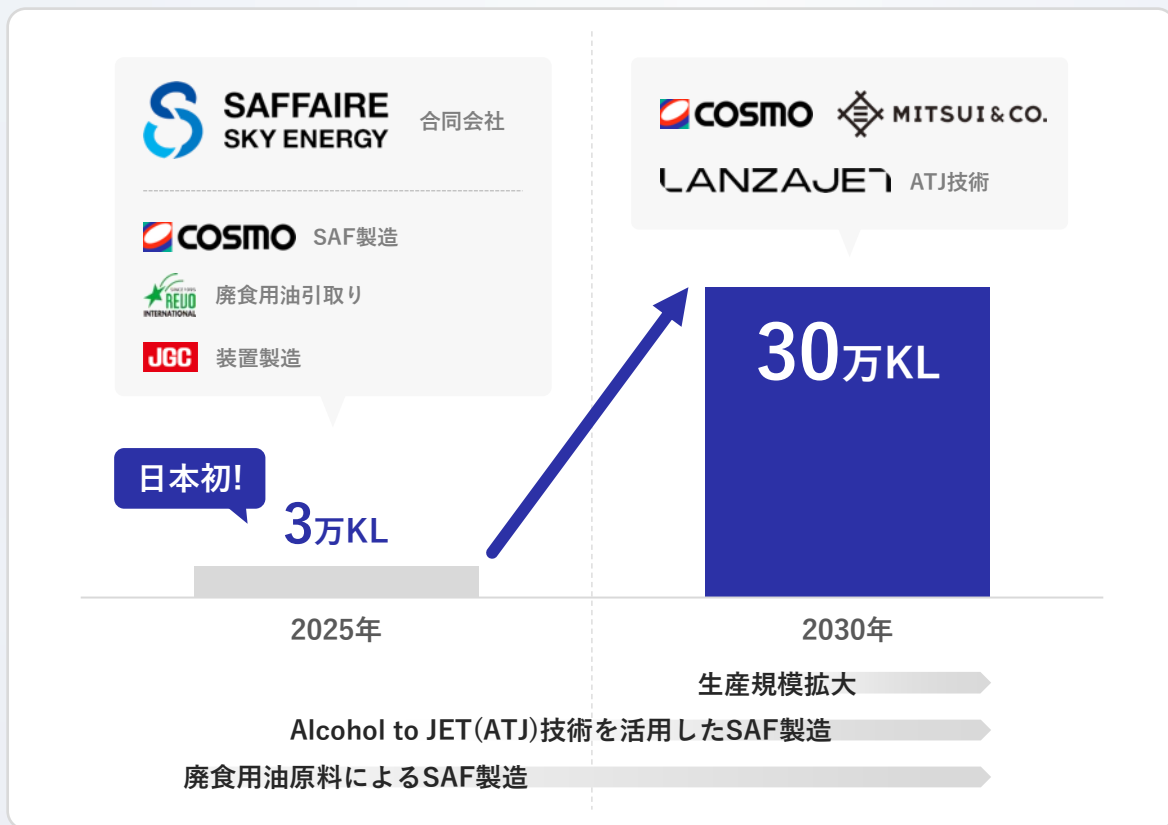
※2015年10月に持株会社体制に移行



- ✓ コスモエネルギーグループは中長期的な取組みとして既存の石油事業のほか、次世代エネルギーの拡大、石油事業の競争力強化・低炭素化に取り組んでいます



✓ コスモエネルギーグループは2030年までに「年間30万KL」のSAF供給を目標として取り組んでいます



※目標値は2022年7月公表時点、数値は製造能力

SAF量産化 国内第1号案件

1 廃食用油原料のSAF事業 (HEFA) | 3万KL/年

- 22年11月 事業パートナーである日揮HD、レポインター ナショナルと新会社「サファイアスカイエナジー」設立
- 24年度内 SAF装置完工 / 運転開始 (コスモ石油堺製油所構内)

2 バイオエタノール原料のSAF事業 (ATJ) | 15万KL/年

- 22年7月 三井物産と共同で事業化検討開始
- 25年2月 経済産業省によるSAF支援事業\*に採択
- 副産品としてバイオディーゼル | 約1.7万KL/年

\*正式名称：持続可能な航空燃料 (SAF) の製造・供給体制構築支援事業

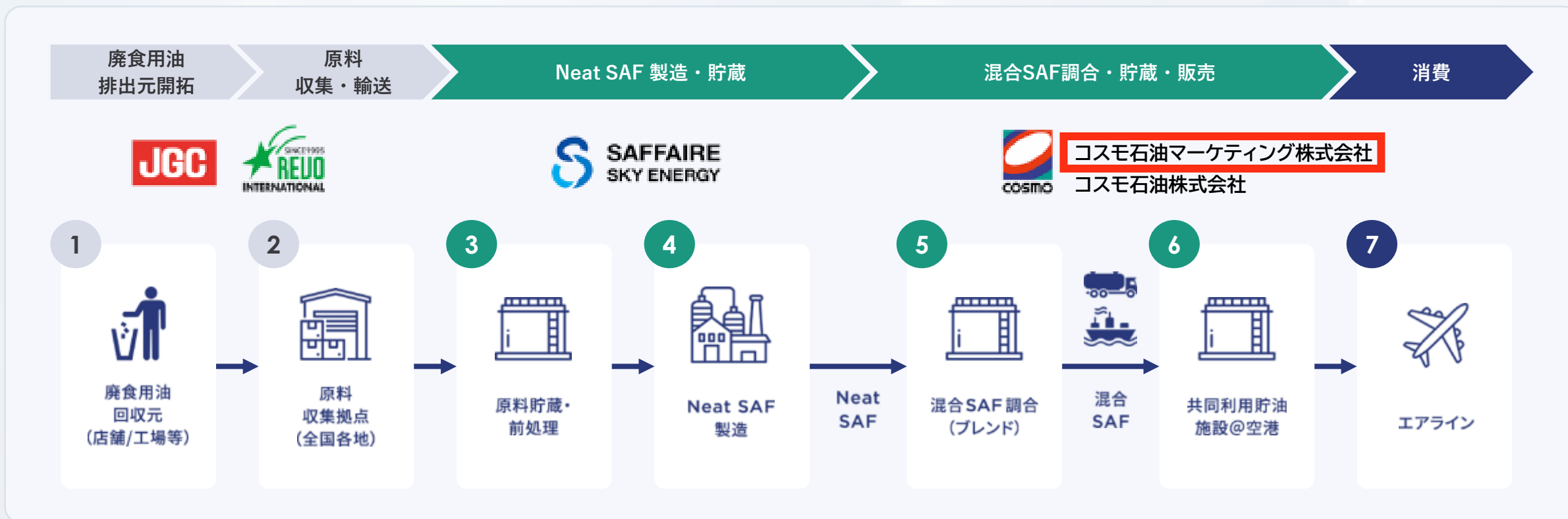
3 さらになるSAF供給に向けた輸入検討 | + α

- 23年3月 タイ Bangchak社と覚書締結
- 23年12月、同社とSAF輸入のフレーム合意書締結

1. コスモエネルギーグループについて
2. COSMOのSAF取り組みについて

- ✓ COSMOはSAFFAIRE SKY ENERGYを通じてSAFサプライチェーンを上流から下流まで一貫構築
- ✓ 原料調達から製造・販売まで一体運営し、安定性・競争力を確保

※ SAFFAIRE SKY ENERGY出資比率 | コスモ 48% : 日揮HD 48% : REVO 4%





廃食用油



原料貯蔵・  
前処理



Neat SAF  
製造



エアライン



廃食用油



IBCコンテナ



コンテナ荷下し1



コンテナ荷下し2



原料(廃食用油)受入設備 \*新設



SAF製造設備 \*新設



SAF  
(JET燃料)

(提供：SAFFAIRE SKY ENERGY)

- ✓ コスモ石油マーケティングは2025年4月10日、大阪・関西万博の開幕日での展示飛行を予定していた**航空自衛隊ブルーインパルス**に当社SAFを初供給しました（関西国際空港にて）

### SAF初供給（ブルーインパルス）



（提供：航空自衛隊）

- ✓ 2025年5月、コスモ石油マーケティングは関西国際空港にて国際線旅客便へSAFを初供給しました
- ✓ 羽田空港では、国産SAFと海外産SAFとの価格差を補助する「東京都の国産SAF利用促進事業」にコスモ石油マーケティングが第1号の採択事業者として選定されました

7/7 羽田空港にて国産SAF供給開始記念イベント

供給エアライン

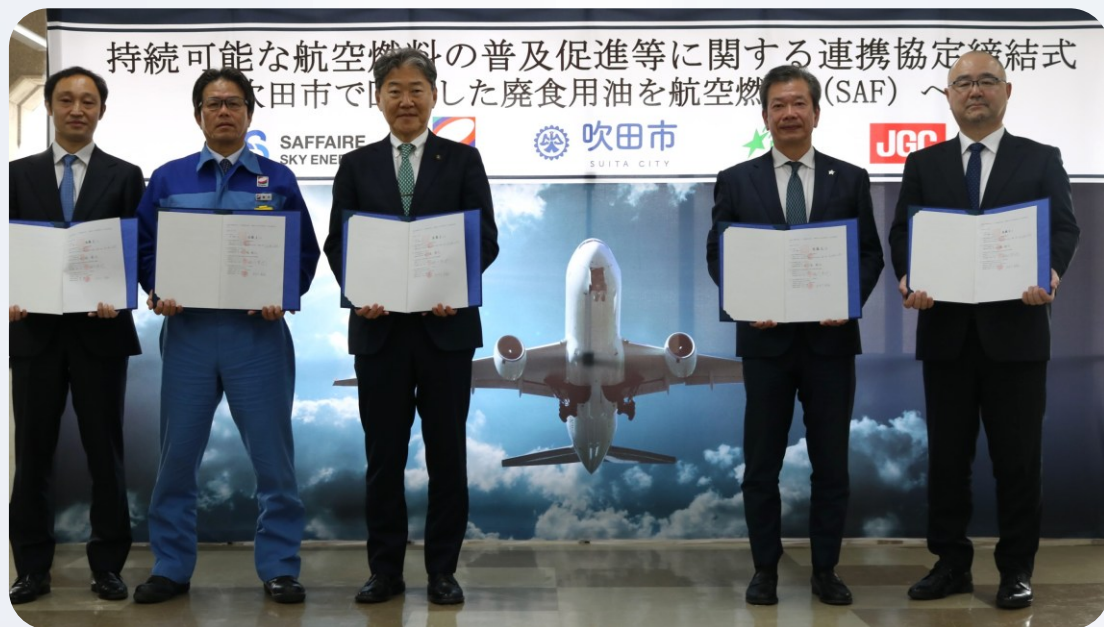


(左から) コスモ石油マーケティング株式会社代表取締役社長・高山直樹、全日本空輸株式会社代表取締役社長・井上慎一様、東京都知事・小池百合子様、日揮ホールディングス株式会社代表取締役会長兼社長CEO・佐藤雅之様、日本航空株式会社取締役会長・赤坂祐二様



- ✓ 2025年3月、コスモグループと大阪府吹田市との**廃食用油資源化に向けた連携協定を締結**  
→市内公共施設での廃食用油回収を開始。市立小学校および市立保育園で排出された廃食用油もSAFの原料として活用
- ✓ 2025年7月より吹田市内の**コスモ系列サービスステーションでの回収開始**  
→市内の5店舗にて専用ボックスを常設し、家庭の廃食用油回収の本格運用を開始
- ✓ この他、**東京都、大阪府**において**累計72サービスステーション**にて回収を実施致しました

吹田市連携協定式での記念撮影 (2025年3月)



左から) SAFFAIRE SKY ENERGYの西村勇毅最高執行責任者COO、コスモ石油の春井啓克取締役常務執行役員 堺製油所長、吹田市の後藤圭二市長、レポインターナショナルの越川哲也代表取締役CEO、日揮HDの秋鹿正敬専務執行役員

吹田市内サービスステーションでの回収開始 (2025年7月)



廃食用油回収ボックス設置イメージ  
(セルフピュア吹田江坂サービスステーション)

- ✓ TVCMや空港などでの広告展開やイベント参加を通じて、**SAF認知度を向上**
- ✓ 新聞や雑誌などの取材記事をはじめ、**多くのメディアでSAF関連情報を露出**

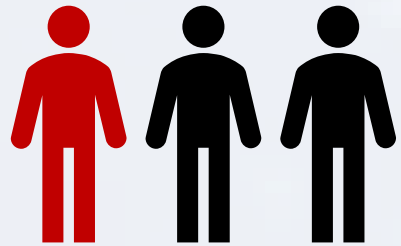
## TVCMや空港での広告展開



## 空港でのイベントに参加



## 新聞や雑誌の記事



## SAFの認知度

**3人に1人**が知っている状態

※COSMO独自調査（2025年11月）

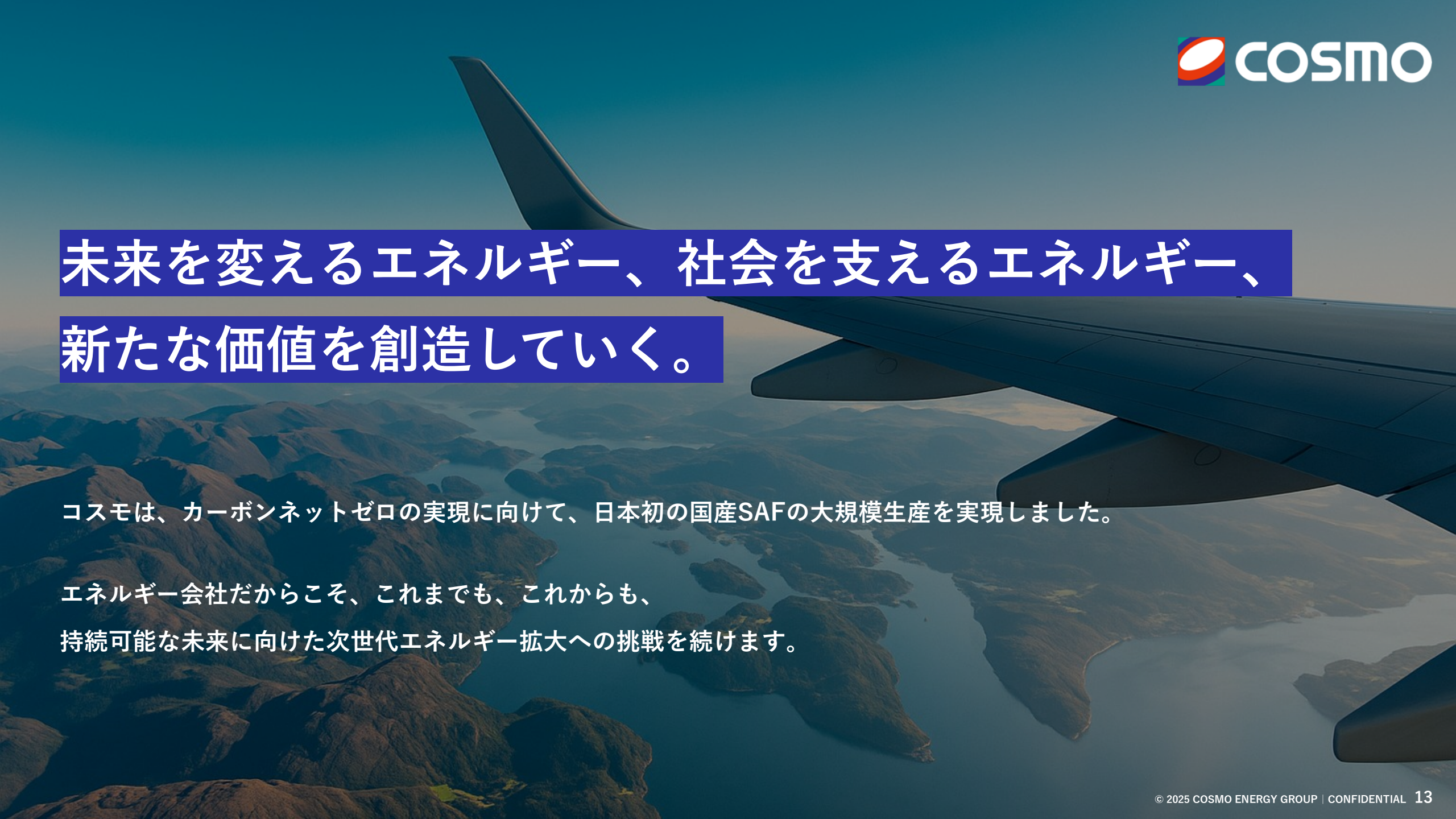
## 今後の課題

- 皆さまと一緒に更なるSAFの認知度向上
- 脱炭素を自分事として認知して頂ける活動

- ✓ 国産SAFの持続可能な事業化に向けてCOSMOは原料調達ネットワークとコスト競争力の強化、需要の喚起といった重要課題に官民連携で取り組みながら、着実にプロジェクトを遂行します
- ✓ 日本初の大規模生産型国産SAFを起点に、日本の脱炭素化/資源循環実現へ貢献、挑戦を続けて参ります

SAF注目度の高まりから今般多くのメディアに取り上げられています



The background of the slide is an aerial photograph of a rugged coastline. The land is brown and rocky, with a complex network of fjords and inlets. The water is a deep blue. The sky is a clear, light blue. The wing and tail of an airplane are visible in the foreground, suggesting a high-altitude perspective.

未来を変えるエネルギー、社会を支えるエネルギー、  
新たな価値を創造していく。

コスモは、カーボンネットゼロの実現に向けて、日本初の国産SAFの大規模生産を実現しました。

エネルギー会社だからこそ、これまでも、これからも、  
持続可能な未来に向けた次世代エネルギー拡大への挑戦を続けます。